

読む人の
幸せを
心に願って
作る

創業五十周年に感謝

昭和三十八年にスタートしたダスキンは創業五十周年を迎えます。

創業当時は全く無名でしたが、その後ミスタードーナツやお掃除サービスなど「喜びのタネをまこう」のローガンのもとに、数々の事業を展開してまいりました。これも商品やサービスをご愛用いただいたいるお客様と、商品をお届けしているお客様のみなさんのおかげと、感謝の気持ちでいっぱいです。

先日、九州の加盟店を訪問したおりに活動記録の映像を見せてもらいました。その中に九十二歳の笑顔の素敵なお客様がおられました。加盟店の創業時からずっと仕事を続けられて、いまも現役でおられるとのことでした。雨の日も風の強い日もお客様をお訪ねし、話しをし、笑いあい、商品を届けてくださっている姿が、まぶたに浮かび、思わず胸がつかまりました。

ダスキンを支えてくださっているお客様に感謝を申し上げるとともに、もっともっとお客様に喜ばれる商品やサービスを広げていかなければならないと心に期しております。そしてその根底には「人を思いやる優しい心」がなければならぬと思っています。

創業五十周年を迎え、自らが今以上に周りの人に対して、思いやる優しい気持ちと行動をとるよう心がけ、人間性を高めていかなければと思っています。

no.531

喜びの タネまき 新聞



写真・阿部高嗣「がんばれーっ」

幼いころの想像力豊かなあそび。世界が広がるような気がして。

「ガッタンゴットン」

線路脇で、飽かずに電車を眺める幼子。お母さんは子の肩に手を置き、うれしそうに話しかける。普通だけど幸せな光景だ。

子どもの頃、ぼくもそうだった。「ガッタンゴットン」無骨(むぼん)だけど、愛嬌のある昔の電車を今も懐かしく思い出す。男の子にとって電車の運転士は、憧れだ。親に連れられてお出かけの日は、朝からそわそわ。電車に乗り込めば、運転席のある先頭車両に陣取る。気分はもう運転士。小学生になると、次第に路線図にも興味が湧いてきた。

ある日、母方のおじいちゃんが道具を一式持ってやってきた。手先の器用な祖父はプロ顔負けの技で襖(ふすま)を張り父母に感謝されていた。

いつも襖紙が細長く余る。その裏に鉄道の路線図を書いた。たとえば東海道本線なら、起点の東京駅から終点の神戸駅まで駅を書き連ねていくのだ。これが余った襖紙にびったりで巻物のようだ。「中央本線」「山手線」、いつも眺めていた「西武線」、次から次へと路線が増えていった。襖の張り替えを楽



絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和む温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一歩二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載最多記録14年目。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に帰るのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸超低山さんぽ」(書肆侃侃房)、「森のくらし」(リヨン社)など。

しみに心待ちしたが、そう滅多にあるわけもなく、ときどき巻物を広げては「ガッタンゴットン」駅名を呼びながら遊んだ。

襖の張り替えは、おじいちゃんの手を借りたが、障子の張り替えは両親がやった。障子は1年も経たないうちに穴だらけで、場所によつては棧が折れてなくなつたりした。男の子3人もいれば無理もないことかもしれない。

障子張り子どもたちにとって大イベントだった。晴れて障子を思いっきり破けるのだ。あつという間に障子は骨組みだけになる。父と母は「いつまで持つかね」と

言いながら、ぼくたちが寝静まつた夜遅くまで障子を張っていた。ぼくは余つた障子紙でも路線図を目論(もくろ)んだが、襖紙と異なり薄い障子紙は駅名が似つかわしくなく、クレヨンで絵を描く巻物になつた。

沖縄のおやつ——その①

「ポーポー」

沖縄の伝統的なおやつを2回に渡りご紹介いたします。一回目は甘くない「ポーポー」です。小麦粉を水で溶いて薄く焼き、アンダンスーと呼ばれる油みそを巻いた沖縄版クレープ。手軽に作れ、素朴な美味しさで心が和みます。



お料理研究家 こいけりえ

おやつ時間 簡単、美味しい楽ラクレシピ



●生地
ボウルに小麦粉100g、ベーキングパウダー小さじ1、水300mlを加え、泡だて器を使ってよく混ぜ合わせる。
●作り方(6本分)
沸騰した湯に豚バラ肉の薄切り80gを入れ、軽く茹でる。茹でた豚肉は細かく切り、サラダ油をひいた鍋に入れて炒める。
肉がバラバラしてきたら、砂糖、甘口みそ各大きじ2、酒小さじ1を加えて炒める。よく混ぜ合わさったら、おろしシヨウガ小さじ1を加え、更に炒める。水分がとんで煮詰まったら完成。



かたまの背を
よく混ぜる



乾いてきたら、裏返して、両面をしつかりと焼く。
焼き上がった生地を油みそをのせ、手前からクルクル巻いて出来上がり。
あつさりした生地に、こつてりの油みそがよくマッチして、家族みんなの手がのびる美味しさです。



油みその集せ方

みてもらおう！

見てうれし、見せてうれし、この写真。わたしの出番の1枚を送ってください。



あすに向かって走るのよ
埼玉県鴻巣市 飯田つる子



飛行機サイコー！
長野県辰野町 井口敬子



しいたけ
おっきいでしょ！
香川県三木町
山下ともこ

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております！(詳細は7ページ)



「人は誰かを幸せにするためにこの世に生かされている」

年、思いの丈の深い人である。

一口にメガネと言っても見る能力をアップさせるのだから、単なるモノとはやはり異なるのだ。「見える、見える！生まれ変わった。世界が違って見える」と喜ぶ顔を見ると、嬉しくて仕方ないようだ。足かけ15

とされた。そうして、無医村無料医療活動に同行し、初めてメガネボランティアをした。40人ほどの体制で臨んだが、検査を中断せざるを得ない千人以上の人々が山また山を越えて押し寄せた。その時に断ったつらい

「みなさん、お客様が来たので一緒にお茶を飲みに行きましょう」と言ってくれたという。一期一会で友だちが一人できた。ネパールが好きになり友だちも増えた。何かしたいと相談したら、眼科の先生を知っているから一緒にやったら？

「前は写真をやろうとカンボジアで子供の写真を千枚撮ったけど、1枚も良いのが無くて諦めた」と、どこか楽しい。やがて東南アジアへ年3回も通うように。「いやあ、バックパッカーが面白くて。安宿で知らない人と出会い、片言で話し、世界の広さと面白さに気づいたんです。はまったんですね」

93年に訪ねたカトマンズで迷つて道を尋ねたのが日本語学校の学生。学校へ行くと日本人の先生。「みなさん、お客様が来たので一緒にお茶を飲みに行きましょう」と言ってくれたという。一期一会で友だちが一人できた。ネパールが好きになり友だちも増えた。何かしたいと相談したら、眼科の先生を知っているから一緒にやったら？

「前は写真をやろうとカンボジアで子供の写真を千枚撮ったけど、1枚も良いのが無くて諦めた」と、どこか楽しい。やがて東南アジアへ年3回も通うように。「いやあ、バックパッカーが面白くて。安宿で知らない人と出会い、片言で話し、世界の広さと面白さに気づいたんです。はまったんですね」

「前は写真をやろうとカンボジアで子供の写真を千枚撮ったけど、1枚も良いのが無くて諦めた」と、どこか楽しい。やがて東南アジアへ年3回も通うように。「いやあ、バックパッカーが面白くて。安宿で知らない人と出会い、片言で話し、世界の広さと面白さに気づいたんです。はまったんですね」

「前は写真をやろうとカンボジアで子供の写真を千枚撮ったけど、1枚も良いのが無くて諦めた」と、どこか楽しい。やがて東南アジアへ年3回も通うように。「いやあ、バックパッカーが面白くて。安宿で知らない人と出会い、片言で話し、世界の広さと面白さに気づいたんです。はまったんですね」

「前は写真をやろうとカンボジアで子供の写真を千枚撮ったけど、1枚も良いのが無くて諦めた」と、どこか楽しい。やがて東南アジアへ年3回も通うように。「いやあ、バックパッカーが面白くて。安宿で知らない人と出会い、片言で話し、世界の広さと面白さに気づいたんです。はまったんですね」



メガネで支援



松田陽二さん
岩手県盛岡市

ネパールの人々が大好き

毎年11月ネパールにメガネボランティアで行く。98年から14回を数える。岩手県内から寄付された文具も含め、用意したフレームを持つて首都カトマンズへ。団長は盛岡の「メガネの松田」の社長、松田さん(61歳)。メガネは無償提供だ。ネパールでは煙突のない台所で煮炊きをして結膜炎になったり、栄養の偏りやガス、水道、電気がない暮らしで眼病も多い。村人にとって、メガネは自分の年収では手の届かない高級品だ。遠い山を越えて検眼や眼底検査に訪れる人は、多い時は600人以上。毎回2〜4百本を作り、これまでに提供したメガネは4084本を数えた。

「前は写真をやろうとカンボジアで子供の写真を千枚撮ったけど、1枚も良いのが無くて諦めた」と、どこか楽しい。やがて東南アジアへ年3回も通うように。「いやあ、バックパッカーが面白くて。安宿で知らない人と出会い、片言で話し、世界の広さと面白さに気づいたんです。はまったんですね」

「前は写真をやろうとカンボジアで子供の写真を千枚撮ったけど、1枚も良いのが無くて諦めた」と、どこか楽しい。やがて東南アジアへ年3回も通うように。「いやあ、バックパッカーが面白くて。安宿で知らない人と出会い、片言で話し、世界の広さと面白さに気づいたんです。はまったんですね」

「前は写真をやろうとカンボジアで子供の写真を千枚撮ったけど、1枚も良いのが無くて諦めた」と、どこか楽しい。やがて東南アジアへ年3回も通うように。「いやあ、バックパッカーが面白くて。安宿で知らない人と出会い、片言で話し、世界の広さと面白さに気づいたんです。はまったんですね」

「前は写真をやろうとカンボジアで子供の写真を千枚撮ったけど、1枚も良いのが無くて諦めた」と、どこか楽しい。やがて東南アジアへ年3回も通うように。「いやあ、バックパッカーが面白くて。安宿で知らない人と出会い、片言で話し、世界の広さと面白さに気づいたんです。はまったんですね」

「前は写真をやろうとカンボジアで子供の写真を千枚撮ったけど、1枚も良いのが無くて諦めた」と、どこか楽しい。やがて東南アジアへ年3回も通うように。「いやあ、バックパッカーが面白くて。安宿で知らない人と出会い、片言で話し、世界の広さと面白さに気づいたんです。はまったんですね」

「前は写真をやろうとカンボジアで子供の写真を千枚撮ったけど、1枚も良いのが無くて諦めた」と、どこか楽しい。やがて東南アジアへ年3回も通うように。「いやあ、バックパッカーが面白くて。安宿で知らない人と出会い、片言で話し、世界の広さと面白さに気づいたんです。はまったんですね」

土手にすわって

岡山県総社市 孝本幸子

6月は田植えの季節。私が小学生の頃は2日間の田植え休みがありました。機械はなく、牛で田んぼを耕していた時代です。『お茶を頼む』と母が黒板に書いて田植えに行きます。休憩に合わせてお茶づけを作ります。妹弟と鳥小屋に行き、産みだての卵に小麦粉を混ぜてフライパンで焼いたアツアツのおやつを持って行きました。「子どもが焼いたんで」母は誇らしげで、あつちの人もこつちの人も呼んで、土手にすわって休憩。ちよつと焦げて黒くなったものも、みんなで食べてくれました。隣の家の畑には、「ゆすら」という赤く小さな実がなっていて、これもいただいて持って行っていました。

先日、ゆすらを食べると、甘酸っぱい味と共に、一緒に食べた、父の大きくてゴツゴツした手を思い出しました。父はもういませんが、母は健在。長生きしてほしいです。

——忙しい田植えの、なつかしい日々……



ただいま

北海道釧路市 大内崇子

小学1年生の娘が、友達と少し離れた公園へ自転車が出かけた。いつもなら夕方5時には帰宅するのに、40分を過ぎても帰ってこない。心配になり、探しに行く準備をしていると、「ただいま……」玄関から疲れた娘の声。

「おかえり。心配していたよ」抱きしめると、「あのね、あのね……」と突然大粒の涙がポロポロこぼれた。5時の鐘で友達と別れた後、帰り道が分からなくなり、あちこち自転車をこいで、おじさんに道をたずね、やっと知っているスーパーまでたどり着き、なんとか帰ってこれたと泣きながら話してくれた。いつもはワガママで甘えん坊な娘が、不安のなか自転車をこぎ、道をたずねていたのと思うと、胸がジーンとして頭をなでました。娘の大冒険の話でした。

——もう、ほんま安心ですね。



がんばる

宮崎県西都市 筒井由美子

春の早期水稻の田植えが終わり、7月の稲刈り、米の収穫が待ち遠しい時期。84歳になる父は、一昨年まで米作りは終わりにすると決めていましたが、いざ収穫し終わった田を見ると、「やっぱり来年もがんばる！」とやる気満々。

去年は田植えが終わり、何やら真剣な顔で考えているようなので話を聞くと、トラクターを買い替えたいとのこと。この歳にして新品!? 驚く私を尻目に気合十分の父。

後継者がいなくても、最後までやり遂げようとする根性に感心しつつ、さすが昭和ひとけた生まれだと思いました。

ケガをしないように、続けられるまで頑張つてね、父さん!

——おお、まかせとけ!(父)



傘の中

三重県松阪市 西川紀栄子

「おばあちゃん、ただいま！」と元気に下校してきた小学4年生の孫。両親が共働きのため、私達夫婦が夕方のサポーターです。

孫の通っている小学校は、田んぼや畑に囲まれた、自然豊かな環境下にあります。

「田んぼの横の、みぞ川でドジョウを取ってきたよ！」との声に玄関まで出ると、孫は傘を小さくすぼめて満面の笑みで立っています。手元を見ると、傘の中にはドジョウが3尾。無残にも傘の骨や布はバラバラです。そこで、大破した傘を何とか再利用してみるのもおばあちゃんの知恵。

傘の布は完全防水。それに目を付け、後日キャラクラ柄のシャワーキャップに変身させました。「物は大切に」と日頃から口ぐせの私。「おばあちゃんの名前はキエコだから、エコばあちゃんや！」と大喜びの一幕になりました。

——なんとって元気がいちはんや。



お花

三重県菟野町 菊川純子

孫は2月生まれの3歳になる男の子。言葉は遅いけど、昨年4月から年少さんになりました。ある日の出来事。幼稚園からの帰りにスーパーに寄った時のことです。年長の兄とそれぞれ一つだけ欲しいものを買っていいと言う約束で、二人は何を買おうか選び始めました。

兄はゼリー一個。弟は「お花買う」「えーお花買うの？」とママ。そして花のコーナーへ行き、ピンクのカーネーションを一本選びました。

レジを済ませると「はい、ママにあげる！」と、その場でカーネーションを手渡したそうです。ママにお花あげたかったんだね。ママを喜ばせたかったんだね。人生で初めて買ったお花をママにプレゼントする優しさに、純バアは感激!

——やっ、こはあ。



ぼーぜん

埼玉県越谷市 小林晴香

「私もお水あげる！」庭の野菜に水をあげていると、3歳になる娘が言いました。ちよつと不安を感じながらも、ホースを手に持たせると、不安の中。娘は私に向かって、おもいきり水をかけたのです。私は頭からビショビショ。間違つて水をかけてしまったとはいえ、

「こういう時はごめんなさいって言うんだよね」と言うと、娘は下を向いてずっと黙ったまま。

「じゃあ、もう知らない」とホースを片付けていると、急に娘が蛇口の下にあったジョーロの水を頭からかぶりました! 私はぼーぜん……

「ぷっ、あははっ」数秒たって、私が笑うと、「えへっ」と娘も笑いました。子供の突拍子もない行動には、いつも笑わされています。

——これで、あつたね。

「みんなでゴロゴロ。シアワセなんだよん♡」



東京都大田区 畠中潤子

人を育てる

実は、しつぱとか、教育というのは、毛穴からにじみ出るような体験から生まれるのですよ。あとで、というより、今話をした方がききめがあります。事件の起こった時に解決しましょう。どんな人にもキットいいところがひとつはある。相手に価値があるということこそが、気付くためには、自分がすぐれていなくてはならない。

鈴木清一

あなたのお便りや写真をお寄せください

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。

どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先
〒163-0223 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集部
電話 03(5909)6703
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

●No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます
http://www.duskin.co.jp/torikumi/tanemaki/index.html

4-5ページの「メガネの松田」の連絡先

〒020-0022 岩手県盛岡市大通1-7-1
「メガネの松田」大通本店 電話:019-651-4105(事務室)
※メガネフレームの寄付は、現在はお受けしていません。

愛の輪からのコラム

from AINOWA

人にやさしいグローバルな視点って?

駅名アナウンスや掲示がなくても大丈夫な欧米の電車やバス



欧米のバスや電車は車中のアナウンスや掲示がなく、どこで降りるかわからないことも……。ところが、乗客に尋ねると「私は知らないけど誰かわかる?」と周りに聞いてくれたり「私はここで降りるけどあなたは次よ」など、出会った人が自然にナビ代わり。障がいのあるなしではなく「助けが必要な人には今、自分ができることをする」という文化が根づいています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎06-6821-5270 HP (http://www.ainowa.jp/)

愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修支援を行っています。

「ありがとう新聞(ありがとう)」の応募締切 &
「オタメシクーポン」の有効期限が迫っています!!

あつたがる、やさしい毎日へ。
50th
Anniversary

ありがとう新聞(ありがとうプレゼント)



ステキなプレゼント。

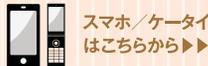
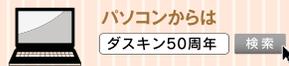
応募受付
締め切り
7/20

④応募対象期間 / 締め切りについて
応募対象期間 2013年4月1日(月)~6月30日(土)
応募受付締め切り 2013年7月20日(土)

※インターネットからの応募は午後5時で締め切りです。この場合は当日消印有効です。

※インターネット限定!! お友達

詳細な内容はWEBでもご覧いただけます。



詳しくは、お客様係または、「ダスキン50周年ありがとうプレゼント事務局(TEL:0120-100-501)」におたずねください。

オタメシクーポン



商品サービスの
お得にオタメシを

※商品・サービスによって有効期限は異なります。

「Happy Colon ローズの香り」の場合
有効期限 7/31

今号のキーワード

「記念」

ハガキに書いてご応募ください!

「ダスキンヘルス&ビューティ」の「ダスキンUVケアミルク」をプレゼント!



抽選で30名様に

SPF25-PA++
(日焼け止め美容液)
30ml(顔からだ用)

下記の要領でご応募ください。

- ハガキに
 - ①今号のキーワード ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢
 - ⑥性別 ⑦電話番号 ⑧ご利用のダスキン店名
 - ⑨この新聞内で好きなコーナー
 - ⑩ダスキンとの印象深い思い出をご記入の上、下記あて先までお送りください。

●応募専用のあて先 ※郵便番号とあて先のみで届きます。
〒163-0265 住所は不要です。

(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.531」プレゼント係

- 締め切り 平成25年7月12日(金)当日消印有効
- 当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。(平成25年8月上旬お届け予定)
- 応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703

※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。
※ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。

今回ご応募いただいた個人情報は、(株)ダスキンにおいてプレゼントの抽選や賞品の発送に利用させていただきます。ご記入いただいたコメントに関しては、弊社ホームページ「ダスキン50周年記念ページ」上に掲載させていただきます。掲載内容:コメント、都道府県、性別、年齢(但し、掲載させていただく際に、コメントの文意を変えない範囲で編集をさせていただきます)。個人情報に関するお問い合わせやご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」プレゼント係(TEL:03-5909-6703)までご連絡ください。

●この新聞をお届けしているのは

あなたの声(ボイス)が原点です。
私たちは、そのお声とともに歩みつづけます。

ダスキンが大切にしたいのは、あなたの声——。ぜひ、あなたの想いをお聞かせください。

お客様の声はインターネットにて承っております。

ダスキンお客様の声 検索

www.duskin.jp/voice

株式会社 **ダスキン**

発行: 広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集: 「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。

個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.co.jp